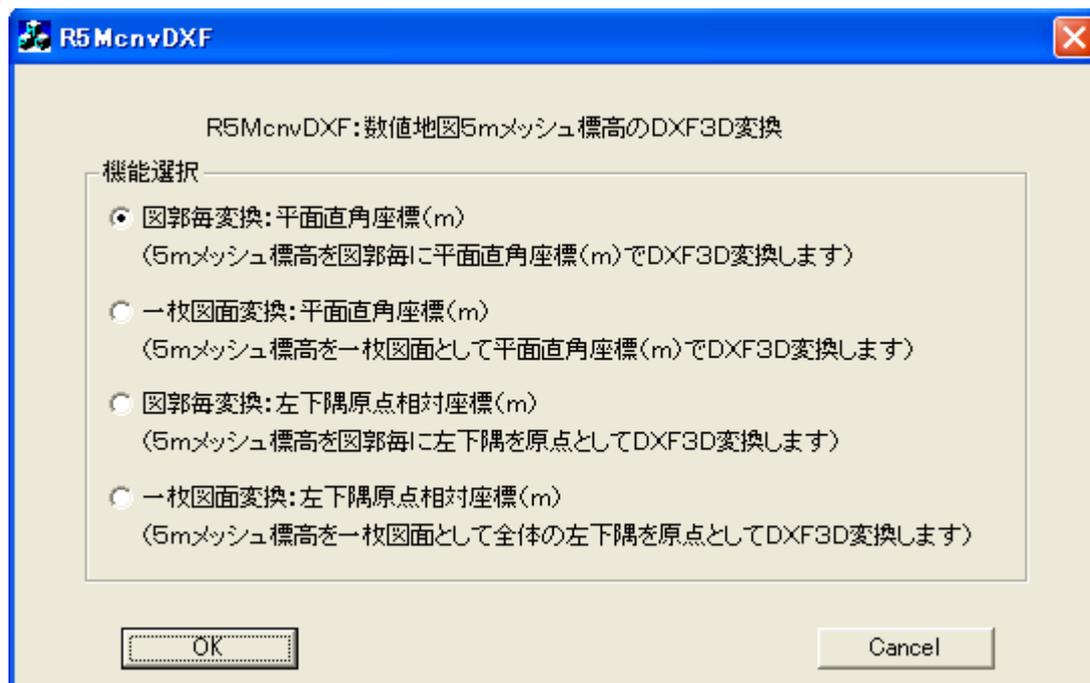


数値地図 5 mメッシュ (標高) 5 m標高のDXF 3D変換

R5McnvDXF

Windows Xp, Vista, 7

R5McnvDXFは、国土地理院が刊行している数値地図5mメッシュ(標高)のCDに格納されている、5m標高のデータから標高メッシュの格子線、標高点を中心点とする均一標高面、標高点を連続化して構成した連結標高面、標高値を任意に与えて生成したコンターから、3DのDXFファイルを作成するものです。標高メッシュの格子線やコンターは3D Polyline、均一標高面は3DFace、連結標高面は3DFaceまたは3DPolyline(ポリメッシュ)で変換されます。座標値は、平面直角数学座標(単位はm)と変換範囲の左下隅を原点とした相対座標(単位はm)で変換できます。



[R5McnvDXFの適用範囲]

対象となる地図データは、国土地理院が刊行している数値地図5mメッシュ(標高)のCDに格納されている、5mメッシュの標高データです。標高データは横2km、縦1.5kmの所謂2500分1国土基本図の図葉にのって、LEMという拡張子を持ったグリッドデータで格納されています。5mメッシュ(標高)という名の通り、平面直角座標の5m四方をメッシュとして標高が取られ、横2km、縦1.5kmの2500分1国土基本図に対し、東西400、南北300のグリッドで構成されています。

[R5McnvDXFと平面直角座標]

数値地図5mメッシュ(標高)は航空レーザ測量により、地表面の高さを直接計測したデータから、建物などの人工構造物や樹木などの植生を除去し、5m間隔に計算で求めた地面の標高で、極めて高精度であることが特徴です。

取得された標高は2500分1国土基本図単位に格納されているため、図葉名称から平面直角座標を得ることができます。これにより、別々の図葉に収められた標高に平面直角座標を付与して3次元データとして展開できます。

[動作環境] (インストールにCDドライブが必要です)

OS: Windows Xp, Vista, 7
CPU: Pentium300MHz以上を推奨
メモリ: 128MB以上を推奨
ハードディスク: プログラム本体容量170KB
ディスプレイ: 1024x768ドット以上を推奨

価格 9,500円 + 税

ミューエス株式会社 〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿2-14-19
Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073
E-mail: info@mues.co.jp
URL = <http://www.mues.co.jp>